

第174回横浜市都市計画審議会

意見書件数及び人数

横浜市都市計画マスタープラン（全市プラン）案に対する
意見と市の考え方

	件数	人数
賛成	3	1
反対	0	0
その他	0	0
合計	3	1

議第1443号 横浜市都市計画マスタープラン（全市プラン）の改定

令和7年3月27日

横浜市都市計画マスタープラン（全市プラン）案に対する意見と市の考え方

分類	意見	件数	市の考え方
賛成	1 横浜市の発展の為、従来の鉄道より敷設が比較的容易な新交通を積極的に導入してください。 テーマパークや防災公園等の計画がある 2027 年国際園芸博覧会跡地への交通について、跡地から瀬谷駅、横浜線や相鉄いずみ野線までバスでつなぎ、横浜市西部交通空白解消を目指すとされています。しかしバスでは渋滞や運転手不足、ガソリン利用や排気ガス等環境面の課題があります。そこで自走式ロープウェイ Zippar ・エコライド・LRT(Light Rail Transit/次世代型路面電車システム)等新交通導入を提案します。 自走式ロープウェイ Zippar https://zip-infra.co.jp/index.html は神奈川県秦野市で実験され、現在は福島県南相馬市で実験線が建設中です。神奈川県と連携協定を結び、神奈川県秦野市や北海道石狩市等各地の自治体で導入を検討しています。従来の公共交通機関と比べ低コストかつカーブも可能です。無人運転なので運転手不足にも対応しています。 エコライド http://www.senyo.co.jp/newbiz/1052/ は横浜市中区で YOKOHAMA AIR CABIN や観覧車を運営している泉陽興業が開発しており、既存の都市間鉄道駅を中心とする地域内交通システムとして開発されました。ジェットコースターの技術を公共交通システムに発展させ、車両側には駆動モーターやブレーキを持たず、車両の動きを全て地上側から操作する方式（＝地上次型交通システム）であるため、車両重量を大幅に軽量できる点において「究極の省エネ交通システム」です。上野動物園のモノレール跡地に建設予定です。こちらも無人運転です。 LRT は栃木県宇都宮市中で 75 年ぶりに日本で新設路面電車として敷設され、沿線人口が増える、乗客が予測より増える、各自治体や団体から視察される、さらなる延伸に向け動く等大成功をおさめています。LRT は環境によく、利用者が使いやすく、それ自体が観光資源になります。 横浜線から国際園芸博覧会跡地、相鉄線やいずみ野線を繋げば、跡地利用利便性向上になります。瀬谷の団地等広大な交通空白を解消し、各鉄道も繋がり通勤通学観光に使われ横浜市西部発展に繋がります。新交通を検討してください。 次に、山下ふ頭です。現在再開発検討中ですが交通の便が悪く、横浜駅や関内駅等から行きにくいので山下ふ頭に繋ぐ公共交通機関が必要です。山下ふ頭に行きやすくなるだけでなく、周辺観光地や居住地と繋げば交通の利便性を高め、山下ふ頭含めた横浜市全体の発展に繋がります。 鉄道等従来の公共交通は敷設が難しいので、ここにも自走式ロープウェイ Zippar やエコライド、LRT 等新交通を提案します。ロープウェイやエコライドは高架なので陸上だけでなく YOKOHAMA AIR CABIN のように海上交通にしてもいいかもしれません。 新交通を横浜駅や桜木町駅、みなとみらい地区や関内駅等から山下ふ頭、新山下や本牧等鉄道空白地等を繋ぎ、広大な山下ふ頭内の交通にも使えば、山下ふ頭に行きやすくなる・山下ふ頭内施設利用が便利になるだけでなく、他の観光地や居住地を含めた通勤通学観光等が便利になり、横浜市全体の発展や新技術発展に繋がり、横浜市が世界の交通の最先端になります。宇都宮市の LRT のように新交通に乗りにくる観光客も期待できます。 車は購入費や維持費等金銭負担面、ガソリン利用や排ガス等環境面、高齢や疾病で運転難しくなる、交通事故等課題が多いです。車から公共交通機関への転換のため、自走式ロープウェイ Zippar やエコライド、LRT 等新交通の横浜市での導入に取り組んでください。省エネや脱炭素になり、バス運転手不足にも対応できます。従来の鉄道より敷設が容易で費用も比較的少なくて済みます。	1 件	1 「暮らし」の方針③「きめ細かな移動手段の導入等によるアクセス向上」において、持続可能な地域交通の実現、「環境」の方針③「持続可能な未来と豊かな生活につながる、気候変動への対応」において、環境負荷の低減につながる交通インフラ等の形成について記載しています。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。
	2 地下鉄ブルーライン新百合ヶ丘延伸やグリーンラインのズーラシア・二俣川延伸等環状線化、みなとみらい線延伸を進めてください。ブルーライン新百合ヶ丘延伸は新横浜の新幹線利用拡大や横浜市と川崎市や多摩地区の交通を活性化します。ズーラシアは一大観光地でありながら鉄道空白地であり、グリーンライン延伸はズーラシア利用者だけでなく、緑区や旭区の住民の利便性が高まり、相鉄東急直結により横浜市西部のターミナルになりつつある二俣川はさらに栄えます。本牧は人口のわりに交通の便が悪いので、みなとみらい線延伸は急務です。ズーラシアや本牧方面のバスが削減できるので、昨今の運転手不足によるバス減便問題に対応できます。	1 件	2 「経済」の方針③「ネットワークの強化と戦略的な土地利用」に、着実な基盤の整備・保全によるネットワーク形成・強化・維持について記載しています。
	3 環境保護、豊かな自然環境、脱炭素をアピールするために、2002 年に横浜市に来て特別住民票を交付されたアゴヒゲアザラシのタマちゃんをイメージキャラクターにして、広報等に活用してください。	1 件	3 「都市計画マスタープラン」は、都市計画法に基づき、都市計画の基本的方向性を示すものとして定めるものです。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。